

I 第5週の発生動向 (2013/1/28~2013/2/3)

- インフルエンザについては、患者報告数が増加し、八戸保健所管内では新たに**警報**が発令されました。上十三、むつ保健所管内では第3週から**警報**が、東地方-青森市保健所管内では第3週から、五所川原保健所管内では第4週から、**注意報**が継続しています。(詳細については、(V)県内インフルエンザ情報をご覧ください)
- 感染性胃腸炎については、患者報告数 232 人で、横ばい状態が続いています。

II 第5週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (*****)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	322	24.8	369	24.6	451	32.2	192	27.4	565	62.8	263	43.8	2,162	33.8	179	22	22.0	300	25.0	
小児科 (74) RSウイルス感染症	5	0.6	3	0.3	2	0.2	4	0.8					14	0.3	-6			5	0.6	
(75) 咽頭結膜熱			6	0.7	1	0.1							7	0.2	5					
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.5	17	1.9	8	0.9	3	0.6	10	1.7			50	1.2	6			12	1.5	
(77) 感染性胃腸炎	75	9.4	51	5.7	31	3.4	17	3.4	46	7.7	12	3.0	232	5.7	7			75	9.4	
(78) 水痘	9	1.1	7	0.8	12	1.3	1	0.2	2	0.3			31	0.8	-34			9	1.1	
(79) 手足口病			2	0.2	1	0.1							3	0.1	0					
(80) 伝染性紅斑			1	0.1									1	0.0	-1					
(81) 突発性発疹	6	0.8	4	0.4	3	0.3			4	0.7	1	0.3	18	0.4	-1			6	0.8	
(82) 百日咳			1	0.1									1	0.0	1					
(83) ヘルパンギーナ															0					
(84) 流行性耳下腺炎	7	0.9	8	0.9					1	0.2	3	0.5	1	0.3	20	0.5	12		7	0.9
眼科 (86) 急性出血性結膜炎			1	0.3									1	0.1	1					
(87) 流行性角結膜炎	2	1.0			2	1.0	1	1.0					5	0.5	4			2	1.0	
基幹 (92) クラミジア肺炎															0					
(93) 細菌性髄膜炎															0					
(95) マイコプラズマ肺炎					7	7.0	1	1.0				6	6.0	14	2.3	5				
(96) 無菌性髄膜炎															0					

は警報、は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前1人 (2013年計:30人)

IV 病原体検出情報

病原体検出情報は、ありませんでした。



風しん・先天性風しん症候群

(五類全数把握疾患)

表 2012~2013年の患者報告数

		(人)	
2012年第1~52週)	2013年第1~5週)		
全国総数	2378	全国総数	282
東京都	681	東京都	135
大阪府	408	神奈川県	41
兵庫県	282	埼玉県	29
神奈川県	259	千葉県	16
千葉県	112	大阪府	14
愛知県	98	兵庫県	14
埼玉県	96	愛知県	10
三重県	61	福岡県	5
沖縄県	46	福島県	2
福岡県	41	群馬県	2

※患者報告数の多い上位10都府県

風しんは、風しんウイルスによる感染症で、主な症状は、発疹、発熱、リンパ節の腫れ等です。子供の場合は比較的軽症ですが、稀に脳炎等の合併症を発症します。大人の場合は、子供より症状が長く続きます。

また妊娠初期の女性が風しんウイルスに感染すると、胎児が難聴、心疾患等の障害を持つ先天性風しん症候群となる可能性があります。

2012年の全国の患者報告数は、過去5年間で最も多く、地域別では関東、関西で多い報告数でした。また先天性風しん症候群は5人の報告でした。2013年は第5週までに、関東地域を中心に282人の患者報告があり(表)、先天性風しん症候群は1人報告されています。

県内の風しん報告数は、2012年2人、2013年第4週に1人です。

風しんの流行は数年間続くことが知られています。厚生労働省は、先天性風しん症候群の予防のため、風しんワクチン定期予防接種対象者、抗体陰性または低抗体価の妊婦の同居家族、10代後半~40代の女性に、ワクチン接種を勧めています。

V 県内インフルエンザ情報

第5週の患者報告数は、2162人で、迅速診断キットによる型別はA型2104人、B型9人、不明49人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数

(人)

週	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5
保健所名										
東地方						6	3	18	15	22
弘前					9	12	59	111	273	369
八戸		6	1	10	16	29	118	256	401	451
五所川原			2		3	6	18	67	162	192
上十三			3	1	3	13	92	304	530	565
むつ					4	10	55	234	375	263
青森市		1		2	4	20	100	166	227	300
合計		7	6	13	39	96	445	1156	1983	2162

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5
保健所名										
東地方						6	3	18	15	22
弘前					9	11	58	111	273	367
八戸		6	1	9	16	28	118	254	373	429
五所川原			2		3	5	18	67	162	192
上十三			3	1	3	13	89	282	502	548
むつ					4	10	55	234	375	263
青森市				1	3	19	94	157	211	283
合計		6	6	11	38	92	435	1123	1911	2104

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5
保健所名										
東地方										
弘前						1	1			1
八戸									1	
五所川原						1				
上十三							1		3	1
むつ										
青森市		1		1	1		1	2	8	7
合計		1		1	1	2	3	2	12	9

年齢区分別

週	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5
～5ヶ月						1	2	4	12	8
～11ヶ月					1		5	13	16	26
1歳			1	4	1	4	16	36	66	71
2歳				1	6	1	24	51	76	65
3歳				1	1	1	11	41	69	82
4歳		3		1	1		22	45	84	98
5歳				1			26	45	89	95
6歳						5	26	40	71	98
7歳						1	8	31	77	71
8歳						1	8	27	54	75
9歳						1	5	36	84	66
10～14歳		2	1	2	1	4	22	183	441	371
15～19歳					4	7	27	60	144	163
20～29歳				2	9	30	56	97	94	134
30～39歳		2	2		6	16	51	116	162	212
40～49歳			2			11	44	83	132	155
50～59歳					1	8	35	92	121	140
60～69歳					3	1	18	69	85	101
70～79歳					4	4	25	43	62	61
80歳以上				1	1		14	44	44	70

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2012年第40週~2013年第4週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
40	H24.10.1 ~ H24.10.7	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
41	H24.10.8 ~ H24.10.14	腸管出血性大腸菌感染症21人 デング熱1人 レジオネラ症1人	梅毒1人	レジオネラ症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
42	H24.10.15 ~ H24.10.21	腸管出血性大腸菌感染症6人					
43	H24.10.22 ~ H24.10.28		梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
44	H24.10.29 ~ H24.11.4						
45	H24.11.5 ~ H24.11.11	つつが虫病1人					クロイツフェルト・ヤコブ病1人
46	H24.11.12 ~ H24.11.18	つつが虫病1人					
47	H24.11.19 ~ H24.11.25	腸管出血性大腸菌感染症1人 梅毒1人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人	
48	H24.11.26 ~ H24.12.2						
49	H24.12.3 ~ H24.12.9	クロイツフェルト・ヤコブ病1人	バンコマイシン耐性腸球菌1人			つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感染症1人
50	H24.12.10 ~ H24.12.16		梅毒1人				
51	H24.12.17 ~ H24.12.23		梅毒1人				
52	H24.12.24 ~ H24.12.30						
1	H24.12.31 ~ H25.1.6						
2	H25.1.7 ~ H25.1.13						
3	H25.1.14 ~ H25.1.20			腸管出血性大腸菌感染症1人			
4	H25.1.21 ~ H25.1.27		腸管出血性大腸菌感染症1人 風しん1人				

VII 結核(二類全数把握疾患)

2012年第40週~2013年第4週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
40	H24.10.1 ~ H24.10.7	2	1	5		1	
41	H24.10.8 ~ H24.10.14			2	1		
42	H24.10.15 ~ H24.10.21	2	3				
43	H24.10.22 ~ H24.10.28	1					
44	H24.10.29 ~ H24.11.4	1	1	1	1	1	
45	H24.11.5 ~ H24.11.11	2	2			1	
46	H24.11.12 ~ H24.11.18	5	3	1	1		
47	H24.11.19 ~ H24.11.25	2	1	1			
48	H24.11.26 ~ H24.12.2		2	1			
49	H24.12.3 ~ H24.12.9	1	2	1		1	
50	H24.12.10 ~ H24.12.16	1					1
51	H24.12.17 ~ H24.12.23	3		1		1	
52	H24.12.24 ~ H24.12.30		1	1			
1	H24.12.31 ~ H25.1.6			2			
2	H25.1.7 ~ H25.1.13		3	3	1	1	
3	H25.1.14 ~ H25.1.20	3	2	3	1		
4	H25.1.21 ~ H25.1.27	2	3	2		2	1

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

(2013年第1週からの累計)

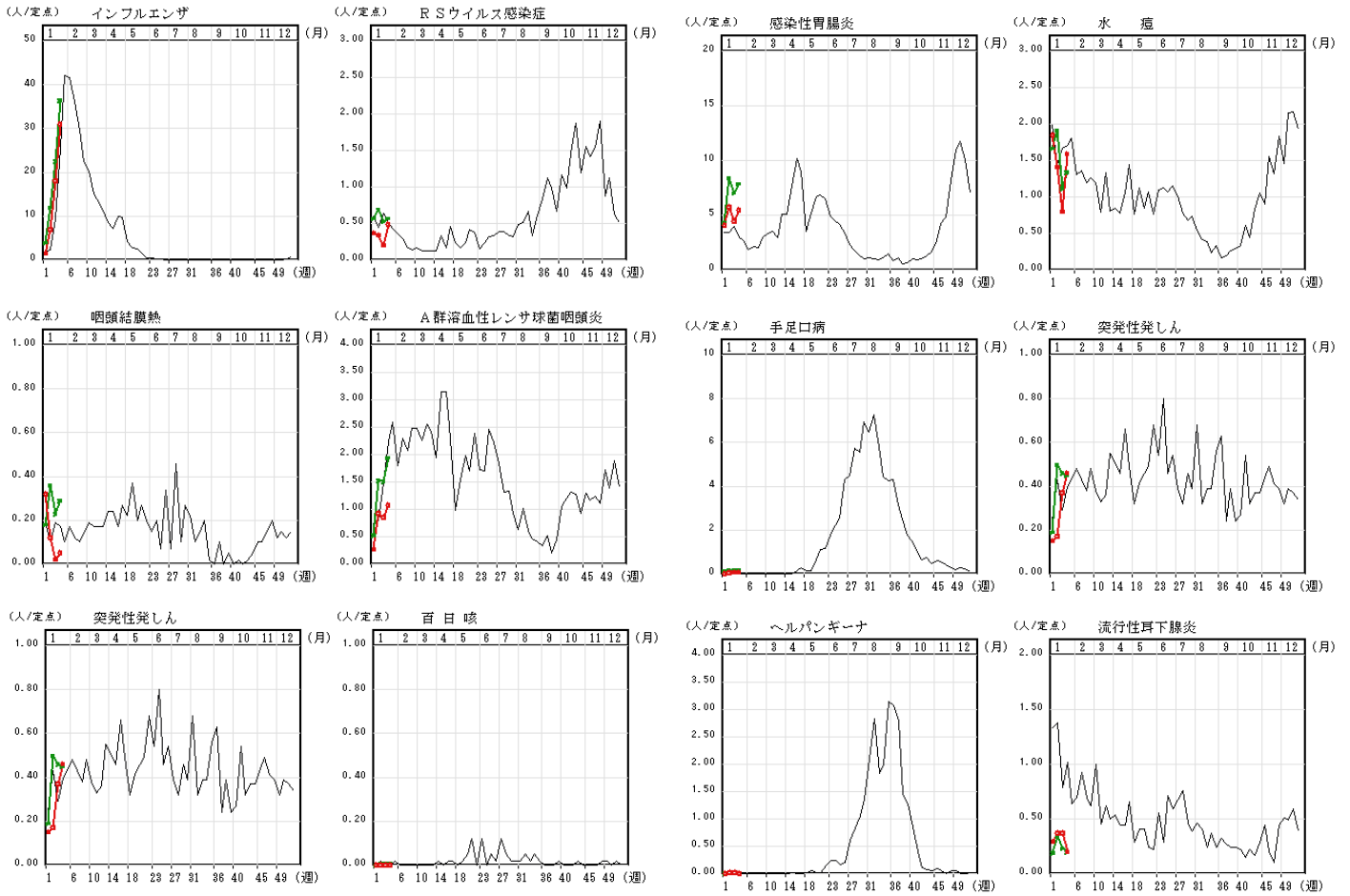
2013年2月4日 18時00分集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類						
	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	A型肝炎	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						
全国	1583	7	41	5	4	3	6	1	1	20	9	1	4	61	1	62	12	43	9	18						
青森県	30	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
	五類	五類	五類	五類	五類						五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類							
	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風疹	麻疹												風疹	麻疹	風疹	麻疹	風疹	麻疹	
全国	84	5	1	65	5	10	304	21												1	1	1	1	1	1	1
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0												0	0	0	0	0	0	0

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

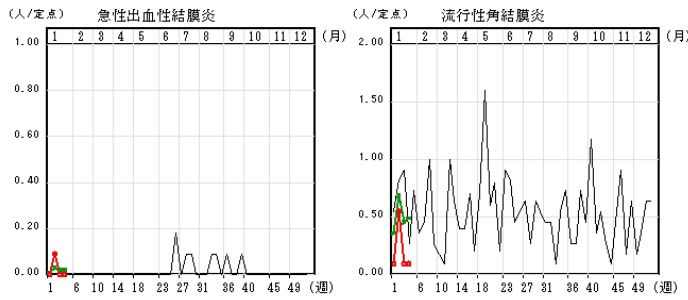
2013年 第4週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、 ×—×は2013年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移

2013年 第4週



XI 基幹定点把握疾患週別推移

2013年 第4週

